

教育及び保育方針	○教育及び保育目標達成に向け、教育及び保育目標の具現化を図り全職員で共通理解し協力し合う園運営に努める。 ○教育及び保育効果を高める環境づくりや施設整備の充実にも努める。 ○研修や実践研究に積極的に取り組み、保育教諭としての専門性を高める。 ○保護者や地域、保育所、小学校との連携をつなぐ園体制を構築する。		園の教育及び保育目標	心身ともに健康で心豊かな子を育成する						
			園児像	○自分で気づく子 ○自分から行動する子 ○友だちと共同して遊ぶ子						
			こども園像	○友だちと交わり、遊ぶ楽しさを感じるができる園 ○一人一人が大切に思いやりがあるこども園 ○幼児が自然を身近に感じ生命のある物をいたわることのできるこども園 ○家庭や地域との連携を深め、信頼関係を築くこども園						
【教育・保育時間】○1号: 8:15から14:00まで ○2号の3号標準時間園児定員 7:30から18:30まで ○2号の3号短時間園児定員 8:00から16:00まで (受け入れ可時間) 7:30～ (1号・2号共通) 【登園時間】8:00～8:15(1号・2号共通) 【保育時間】8:15～14:00(1号・2号共通) 【保育時間延長の教育・保育の時間】14:00～18:30 (1号:～普通保育) (延長保育の時間) 18:30～19:30 *2号延長は、19時より延長扱い 【学期:1号・2号共通】○第1学期 4月1日～10月13日 *10月の第2月曜日の直後の日曜日まで ○第2学期 10月21日～3月31日 *10月の第3月曜日から翌年の3月31日まで ○春学期 3月16日 ※那覇市内はこども園・小学校・中学校とも2学期制になっています。 【休業日】○1号のみ ※2号延長がお休みでも欠席扱いになりません ○土曜日 ○学年始業日 4月 2日から4月6日まで ○夏学期休業日 7月21日から8月24日まで ○冬学期休業日 10月11日～10月16日 ○冬学期休業日 12月26日から翌年の1月4日まで 【休園日】※1号、2号共通 ○日曜日 ○国民の祝日に関する法律に規定する休日 ○12月29日から翌年の1月3日までの日 ○8月23日(設置の日)		主な行事 ※各行事については、実施日 近辺の新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ実施を検討する		・進級式 入園式 ・始業式 ・3者面談 ・春の遠足 ・保育参観(5月・11月) ・親子交通安全指導 ・七夕集会 ・園入園式(7月・12月) ・祖父母おまねき会 ・1学期終業式 ・2学期始業式 ・運動会 ・遠足 ・観劇会 ・生活発表会 ・お楽しみ会 ・節分豆まき ・お別れ遠足 ・親子フォトシート作り ・5年生との交流会 ・カレーパーティー ・ひなまつりお茶会 ・親子清掃 ・卒園式 ・誕生会(毎月)						
家庭との連携		小学校との連携		地域との連携		子どもの教育・保育目標(学年の重点)				
○家庭との連携年間計画 ○家庭状況把握(児童票、家庭訪問) ○情報提供(入園のしおり、HP等) ○保育説明(園だより、クラスだより、おたより、写真掲示) ○情報共有(保育参観、保育参加、学級懇談会、個人面談) ○ボランティア活動		○アプローチャリキュラム ○園児と児童の交流 授業参観 おおき会 給食交流会 清掃(5年生) ○保育教諭と小学校教諭の交流 ○こども園と小学校連携計画		○地域人材の活用 ○地域行事への参加 ○地域施設の活用 ○近隣保育所(園)との連携		4歳児: 信頼感を深め、仲間と共に感情豊かな表現をする 5歳児: 集団生活の中で自立的、意欲的に活動し、体験を積み重ねる				
健康支援		環境、衛生・安全管理		食育の推進		子育ての支援				
○健康状態や発育及び発達の状態の把握 ○学校医による定期的な健康診断(内科・歯科 *各2回) ○諸検査(尿・ぎょう虫 *2回) ○健康観察(園児の心身の状態)(異常が認められた時の適切な対応) ○学校保健計画 ○特別な配慮を要する園児への対応		○施設内外の設備、用具等の衛生管理(清掃及び消毒)(採光、照明等) ○施設内外の設備、用具等の安全管理(安全点検表) ○園児及び職員の手洗い指導(衛生指導) ○感染症の集団発生予防 ○学校安全計画(毎月避難訓練) ○危機発生時対応要領(危機管理マニュアル) ○交通安全指導計画		○食育指導計画 ○体験活動(菜園づくりの実施) ○一人一人の対応(食物アレルギー等)		○子育て支援計画 ○地域子育て支援的活動(未就園児親子登園)(園庭開放) ○子育て相談の実施(6月・8月・11月)				
養 護	年齢	3歳児	4歳児	5歳児	特色ある教育と保育		特別支援教育	育みたい資質・能力		
	生命の保持		○運動と休息のバランスと調和を図る。	○健康・安全への意識の向上	○地域や幼児の実態に基づく教育・保育課程の編成 ○幼児の主体的な活動を促す環境構成 ○こ小連携 ○保育所、中学校等との連携 ○池宮城友子先生による絵画指導 ○山崎淳子先生によるわらべうた指導		○特別支援教育方針	○知識・技能の基礎		
情緒の安定			○自己肯定感の確立と他者の受容	○心身の調和と安定により自信をもつ。			○園内の支援体制(園内支援委員会計画)	○思考力・判断力・表現力等の基礎		
ねらい及び内容										
教育及び保育	領域	教育及び保育(教育課程に係る教育時間含む)			幼保連携型認定こども園教育・保育要領					
	健康		○戸外でみんなと一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ○自分たちで生活を進める楽しさを知る。	○いろいろな運動遊びに取り組み、体を十分動かして遊ぶ。 ○見通しをもって自分たちの生活をつくっていくこととする。	① 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ② 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ③ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しを持って行動する。				学校評価(自己評価・関係者評価)	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
	人間関係		○友達と一緒に遊びや仕事を楽しめながらしようとする気持ちをもつ。 ○友達と楽しく生活する中で決まりの大切さに気づき守ろうとする。	○共通の目的に向かって、自分の力を発揮しようとして、みんなで力を合わせてやり遂げた満足感を味わう。	① 幼保連携型認定こども園の生活を楽しく、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ② 身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ。 ③ 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。				○学校評価年間計画 ○学校関係者評価委員会2回(小学校と合同)	健康な心と体 自立心 協同性
	環境		○自然の美しさやふれで感動したり、自然物を使って遊ぶことを楽しめたりする。 ○遊びの中で、数量や図形や文字に関心をもつ。	○自然の変化、美しさ、不思議さに気づき友達と伝え合ったり、調べたり、遊びに取り入れたいりする。 ○文字や数字を使って伝える楽しさを味わう。	① 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 ② 身近な環境に自分からかかわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ③ 身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。				○自己評価シート ○保護者アンケート ○学校評価の公表	道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 思考力の芽生え
	言葉		○友達に自分の思いや気持ちを伝えようとして、相手にも思いがあることを知ったりする。	○人の話を注意して聞き、自分の思いや考えを相手にわかるように伝えようとする。	① 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ② 人と言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ③ 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育教諭等や友達と心を通わせる。				○全体への反省による計画見直し・改善、教育課程への反映	自然との関わり・生命尊重
	表現		○自分のイメージに沿って必要な材料を選んだり、方法を考えたりしながら実現しようとする。	○様々な体験や感動を様々な方法で伸び伸びと表現し、伝えようとして感動を共有したりする。	① いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 ② 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ③ 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。				○園内研修計画 ○園外研修計画 ○学力向上推進計画 ○教育課程研究協議主題に関する研究	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現

※新型コロナウイルス感染症感染拡大状況により、教育・保育内容及び行事に変更が生じる場合があります